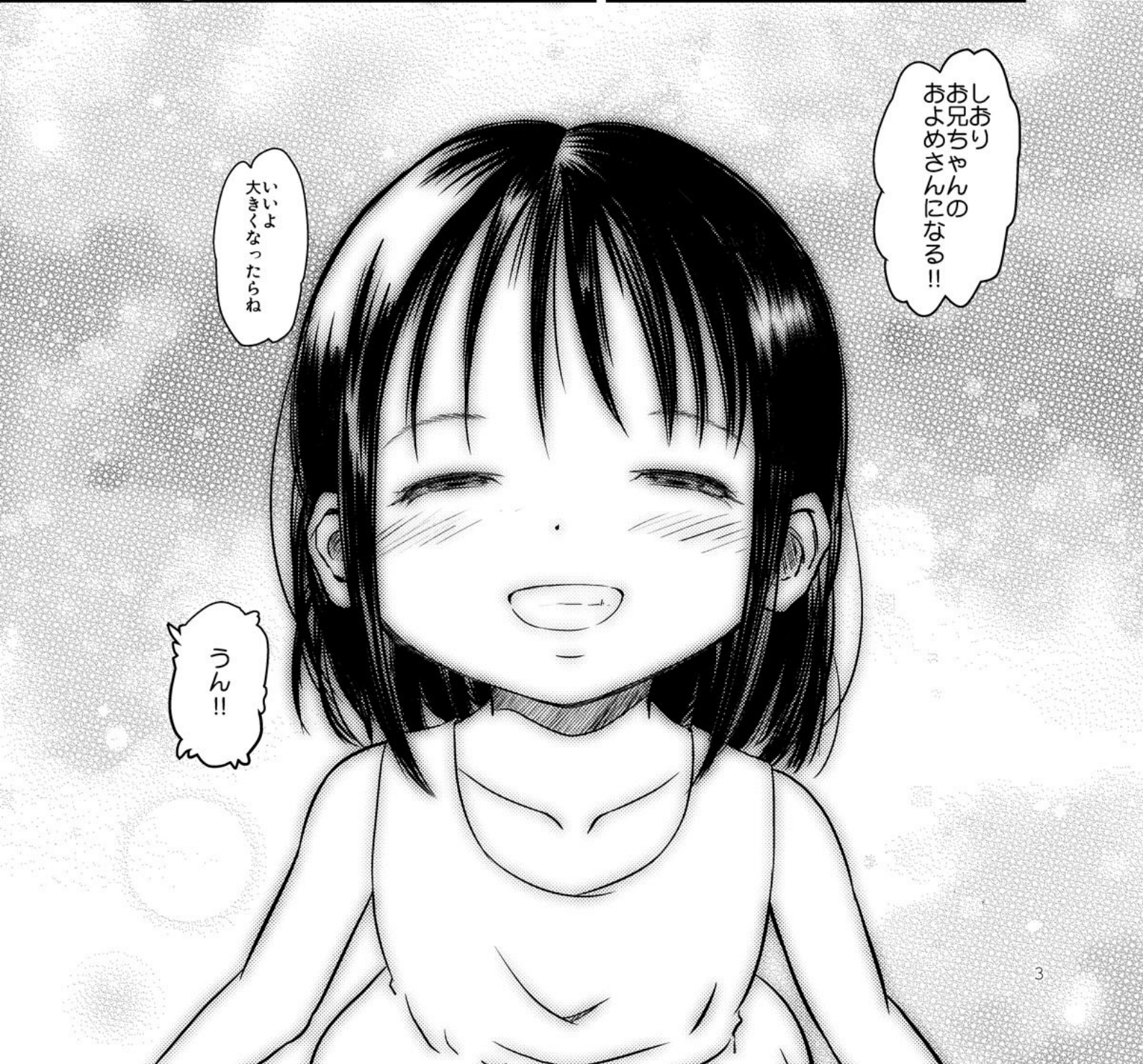
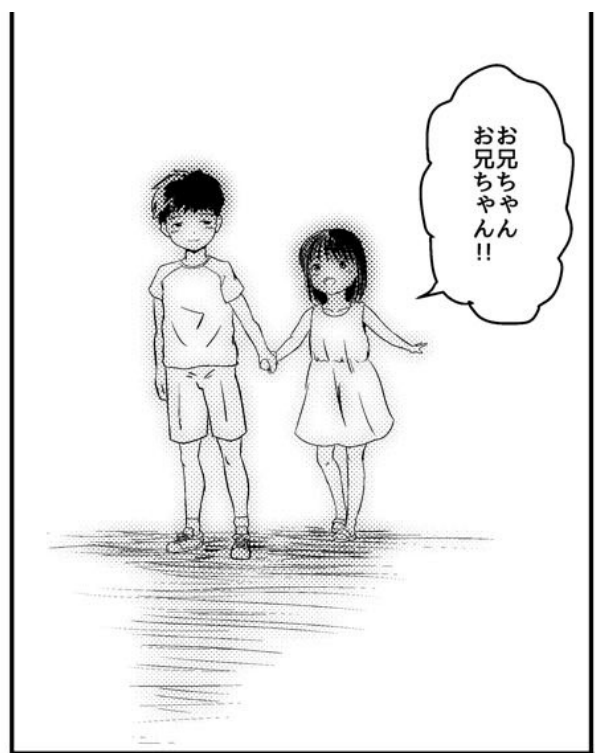
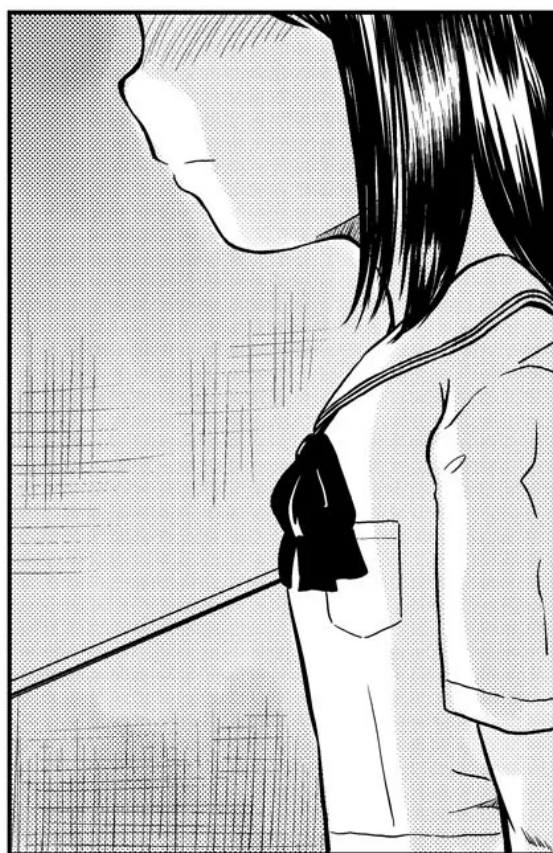


This book is a Story of elder brother and younger sister.
STUDIO FATALITY 2016. SUMMER

Don't Let Our Love Go Down
for adult only.







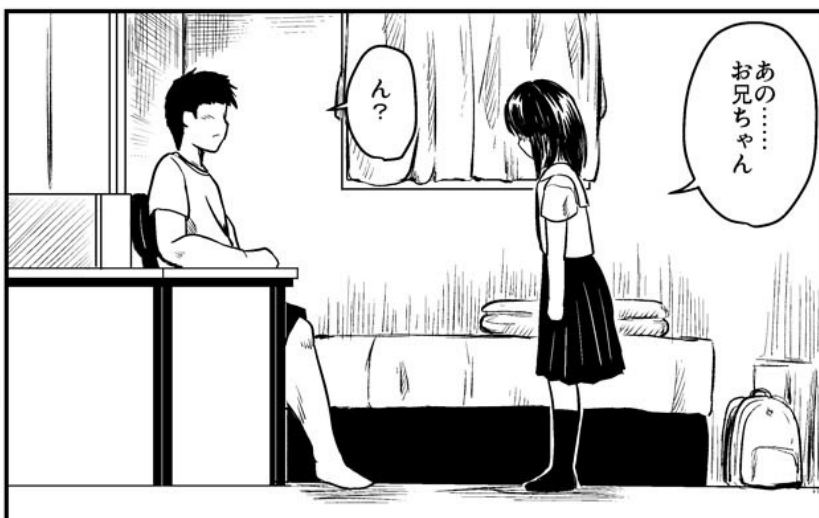


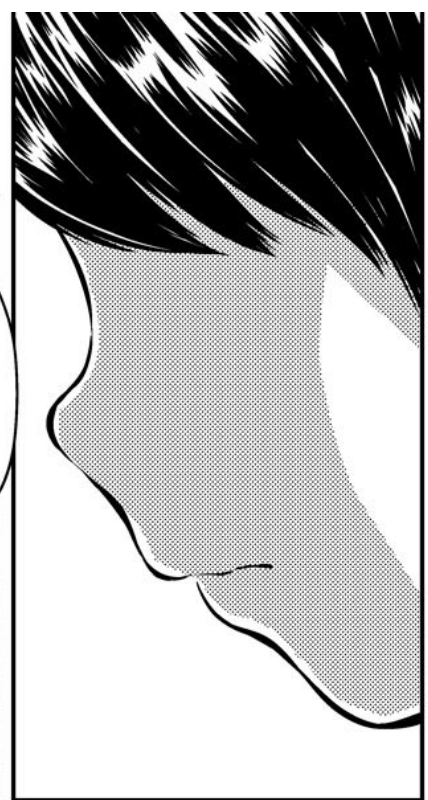
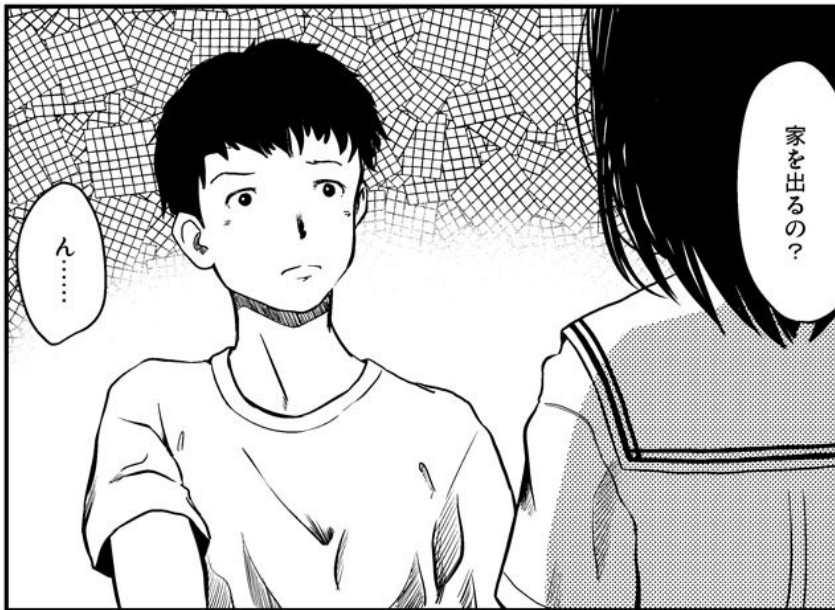
お兄ちゃんのお嫁さんになる

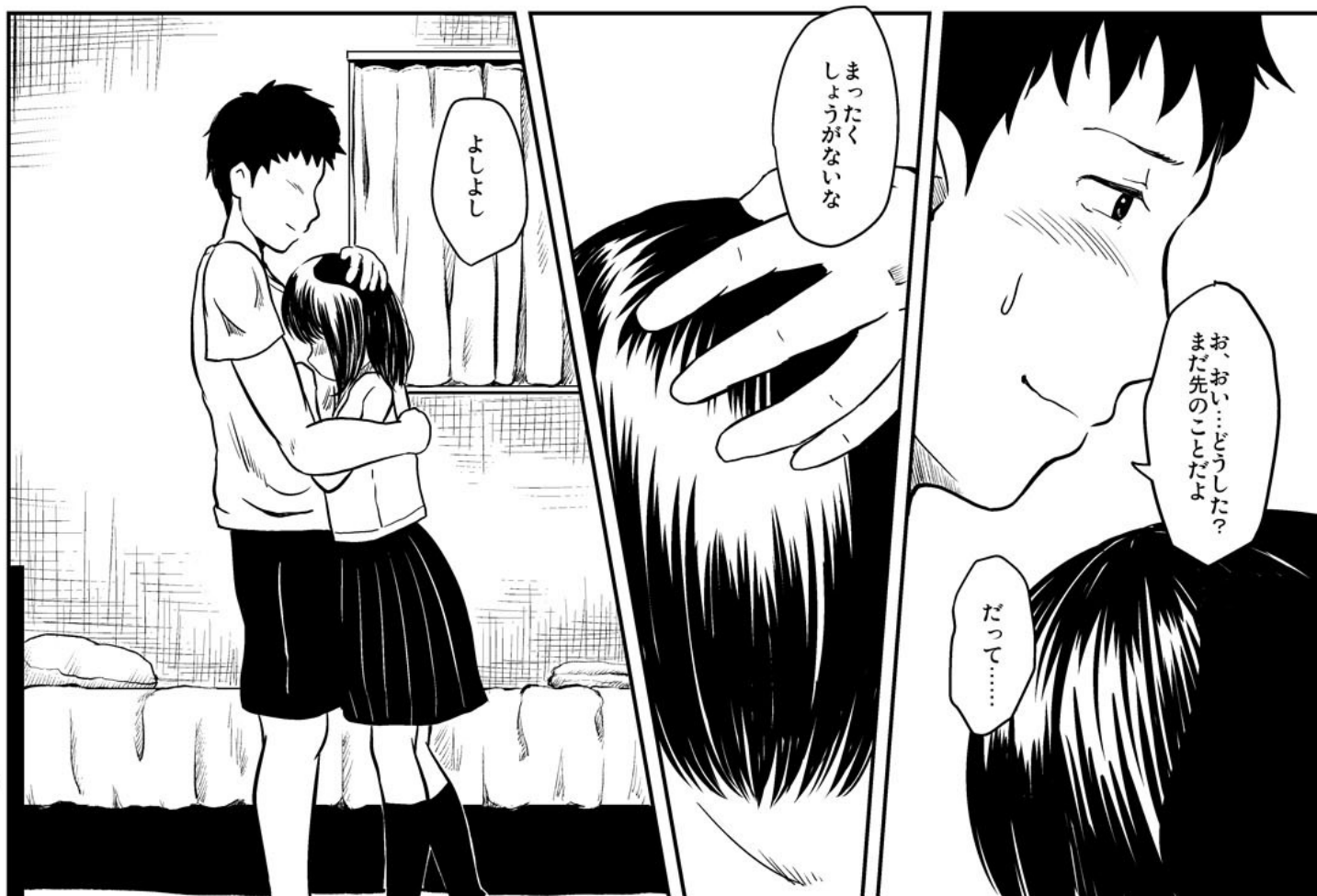
そんなことは無理なんだってことはすぐにわかった

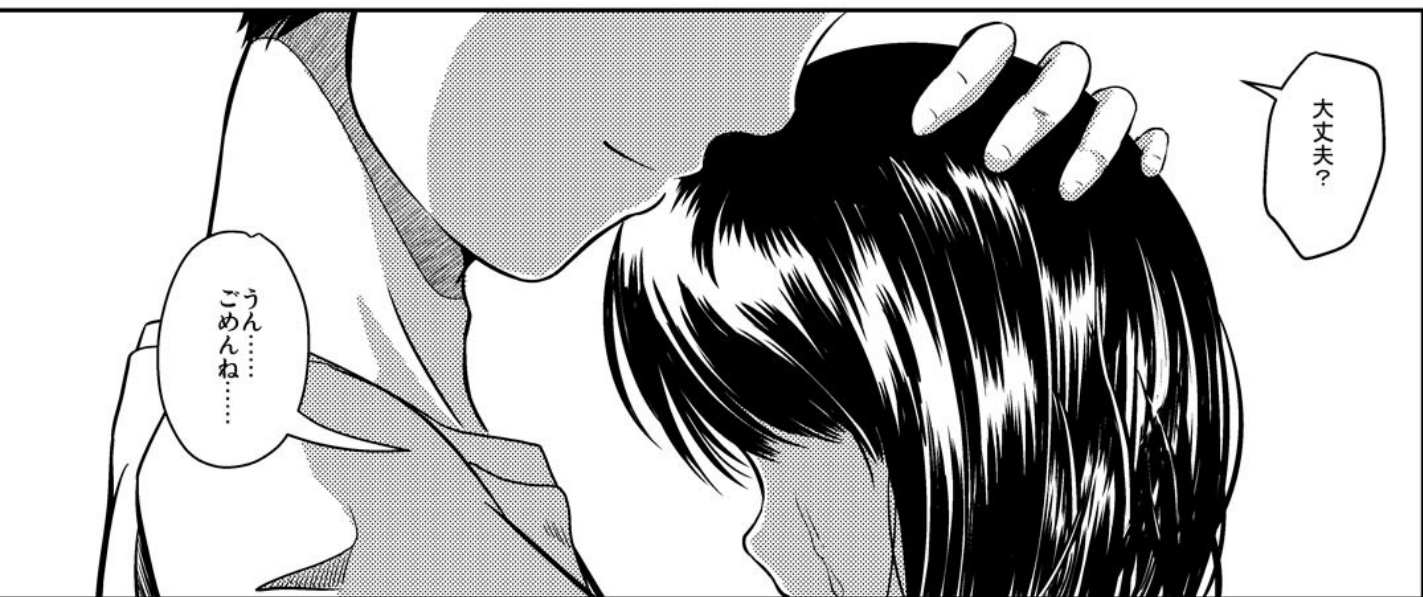
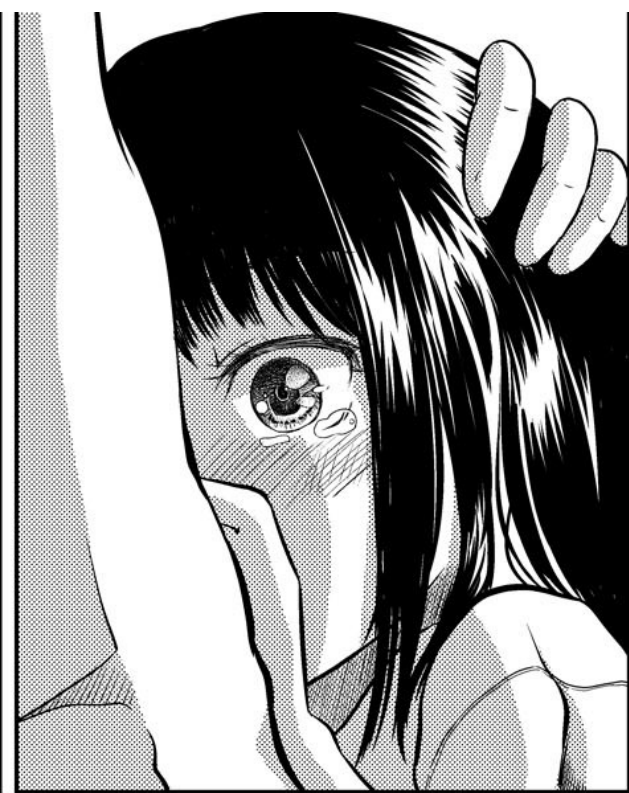
それでも一緒にいられるなら

中学生になってそう割り切った





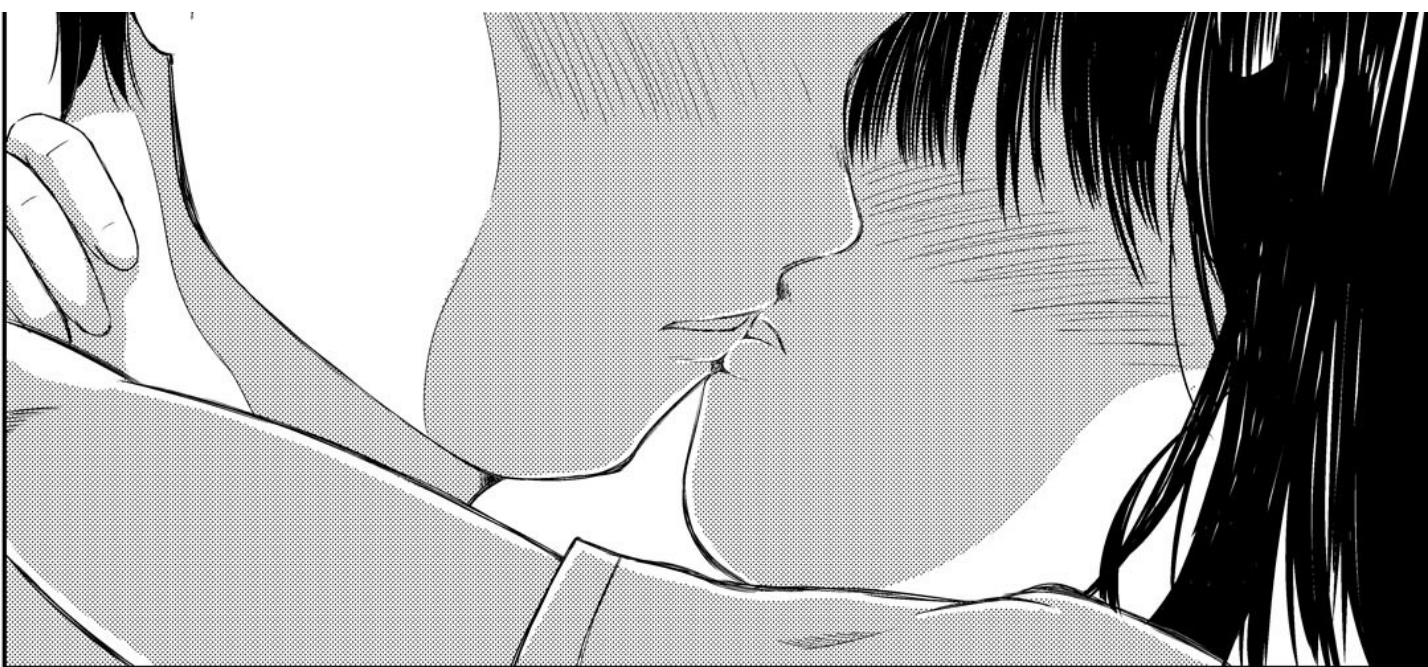






でもそれだけなんだよ





キスは？



したら…だめなのかな

これは…なにかな
罪になるのかな



ねえ、お兄ちゃん

それじゃ……



わ、わからないよ



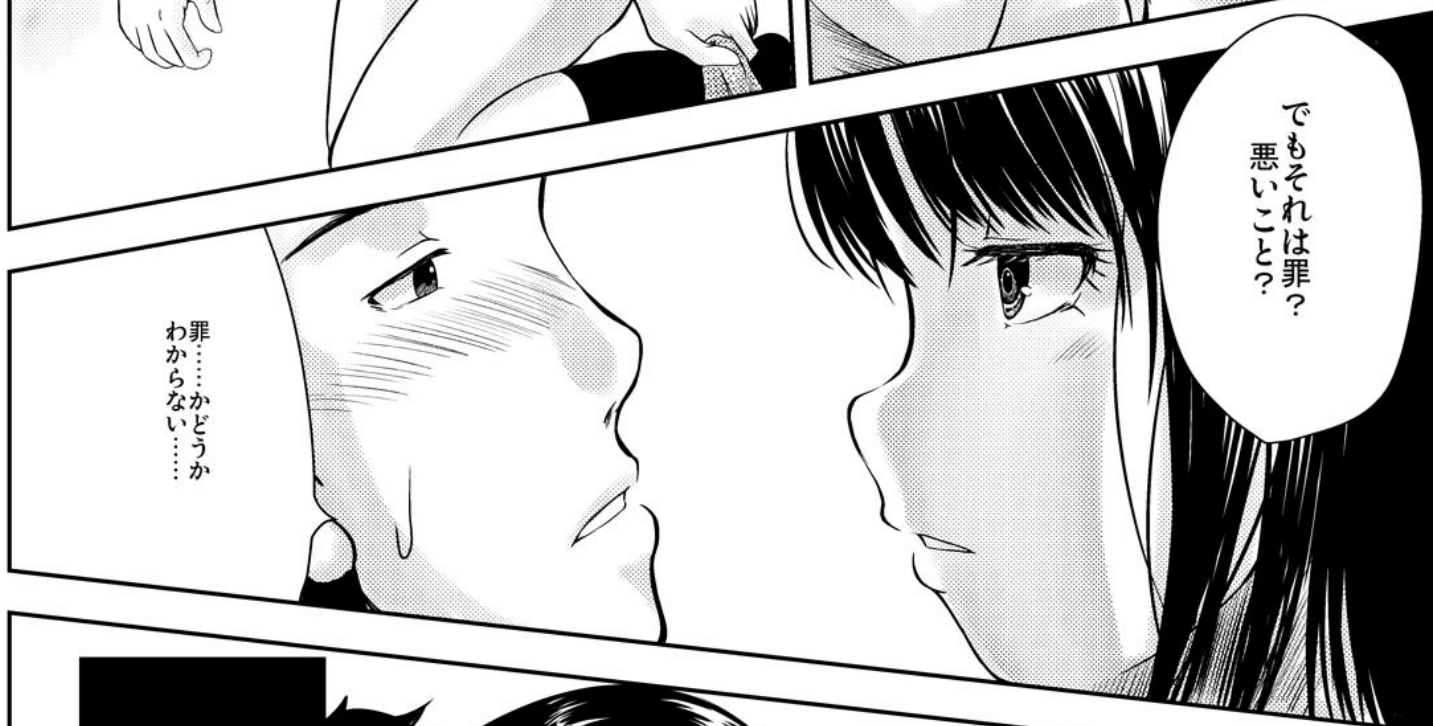


そうだね
普通そうだね

する...

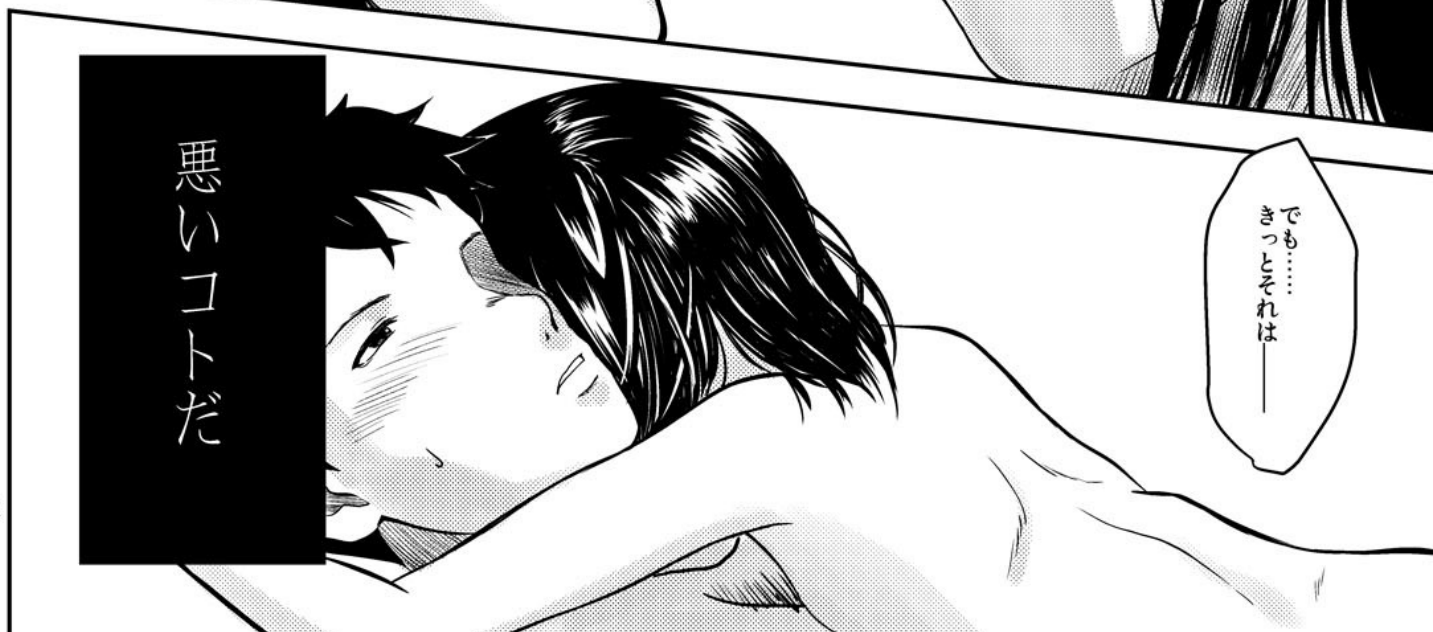
それは...一般的に
そう言われてる...だろ

ニユル



でもそれは罪？
悪いこと？

罪...かどうか
わからない...



でも...
きっとそれは

悪いコトだ

















それからは親の目を盗んではこっそり『悪いコト』を繰り返した

イっちゃう♡
わたしもう
イっちゃうから



こっそりする
『悪いコト』は
最高に気持ちよくて
やめられなかった



膣内
に
射精してえ♡

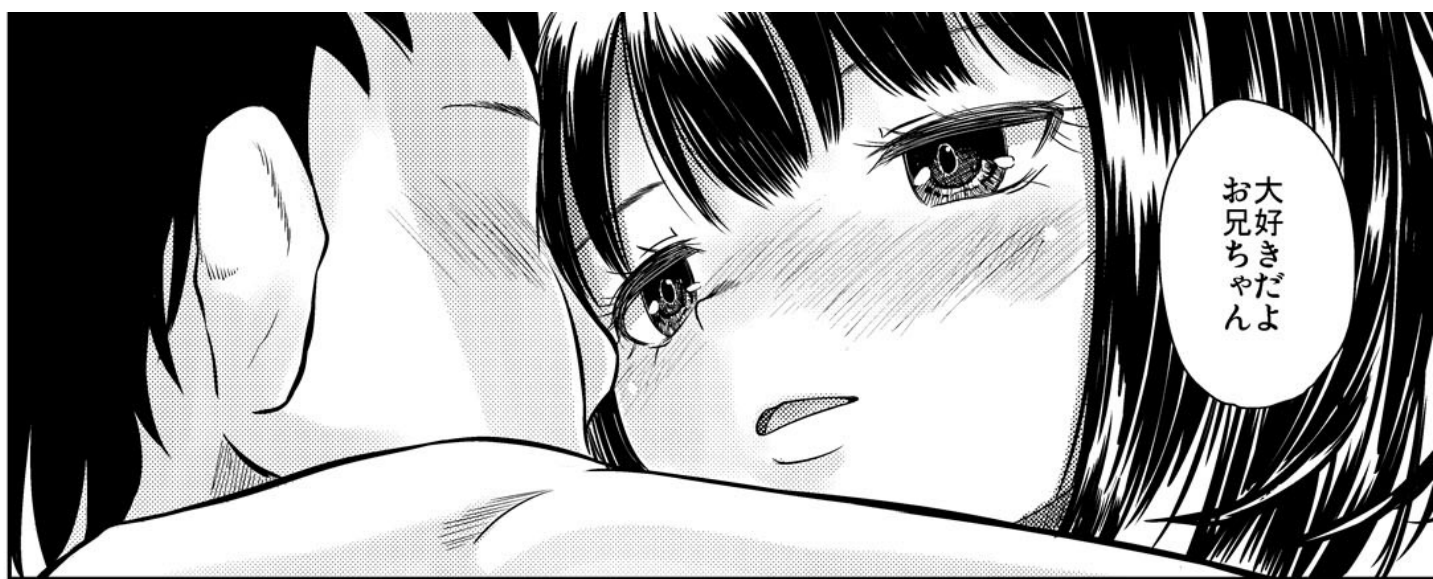


『悪いコト』は繰り返す
うちに、罪悪感は薄れた

だって！
だってえ！！
気持ちいいんだもん！！
お兄ちゃんのが気持ちいい
のが悪いんだもん♡



こんなところでなんて
見つかったらどうするんだ



あとがき

男性向け創作でははじめまして、STUDIO FATALITYのやなぎーです。

8年間ひたすらアイマスで活動してきましたが、アイマスも10年を超え、当サークルも活動20周年を迎えたという節目だったので、心機一転オリジナルをやってみようということで今回の本と相成りました。

念願のオリジナル兄妹ものです。最近JC好きってのもあるけど、まじめに兄妹でなんかやろうとするとJCがちょうどいいんですよ。

ずっとアイマスやってたからみなさん知らないと思いますが、やなぎーとしては兄妹ものというのは魂のジャンルなのです。この根っこは絶対変わらないでしょうね。

なにげにオリジナルエロは初めてだったりするんですが、描きあがってみるとなんだかいつもと大差ないような気がするw

これまで二次創作をやっているいろいろ設定に縛られたりしてたわけで、いざそういう制約がとっぱらわれると、選択肢が広がりすぎて逆にどうしたらいいのかわからなくなります。

自由すぎてキャラも話も広がりすぎて收拾つかなくなる。ほんとに話はいくらでも思いつくしストックもあるしで、これまで『このキャラにあった』話やシチュエーションを絞り出していたのとは全く逆の苦勞になりましたねえ。取捨選択で止まるところがこれまで以上に格段に多かったです。

ただ、それがこのうえなく楽しかったです。

今回すんごい悩んだのが、キャラデザと名前です。今やアイマスには実に300人近くものキャラがいるわけで、それとかがぶらないようにオリジナルキャラを作るのがなんともむづかしいことがw

まあ名前はあきらめました。だってアイマス内ですらかぶってるし…。

デザインについていえばいろいろこねくりまわしましたが、結局のところ自分の絵柄で素直に描けばそんなかぶらなかつたですね。結局初稿に戻りました。JCこうあるべし、みたいにならざるを得ないキャラなのでw

こうゆうほうが描きやすくもある。いや自分のキャラってほんと描きやすいですねw

お話のほうはもうずっとこうゆうの描きたくて描きたくてためてたんですよ。

なのでわりとすんなり大枠は固まったんだけど、まあ詰め込む詰め込むw

いつになったらえっちシーンになるんだよ！的に、このえっちシーンいつ終わるんだよ！

つか何ページ描くつもりだとなりwいやー削った削ったw削るのはいつものことだけど1/5くらいに

なったんじゃないかっつーくらいでw結局えっちシーンは幾分か減ってしまったのはあかんかったなと今思うけど、

前半部分がキモなものでしょうがない…。

おかげで線きが1本描ける状態にはなっています。描くかどうかは状況を見て決めようかと。

なにしろジャンル変更後初めての本ですから。自分の作品がどう受け止められるのかまったく予想がつかない…。ただ先にも描いたようにネタは雫水の如くあふれてくるのでしばらく描いていきたい気持ちは強いです。

この作品、2月から動き出していたのにまた×切ぎりぎりになってしまった…。どうしてこんなことに…。

作画に異様に時間がかかりました…。二次創作キャラだと原作にある程度よせて描くので髪の毛の表現って固まりになるんですよ。せつかくのオリジナルなのでツヤバタでペンストロークで細かく描くのが

たのしいし表現が豊かになるなと思ってやったんだけど…異様に時間がかかった…。

あとはクリスタ移行で新しい手法をとったことも時間かかる要因でした。一応これクリスタ2作目なんで最初に比べたら疎かところは少なかったですけど、まだまだ手さぐりですね…。コミスタに比べると便利になってるところが多いので戻ることはないだろうけどしばらく慣れが必要ですねえ。なにしろペンの感覚がクリスタのが好みです。まだまだPainterには及ばないけど…。

ブラシが普通に使えるようになったので、今回はグレスケで仕上げました。

でも重くなったので1200DPIが使えなくなりました…。コミスタのときはずっと1200DPIでやってたんだけど、クリスタではあんまり必要なさそうなのでいいか。

というわけで、またあとがきを描きすぎました。

初めてのオリジナル作品、楽しんでいただけたら幸いです。

ひー！×切まで数時間…！（いつもの）

STUDIO FATALITYはやなぎの個人サークルです。
我ながら驚きですが、2016年で活動20周年になりました。
そのうち8年もアイマスで活動してきました。
こんな長く続くとはねえ…。
ここいらで一区切りです。
しばらくオリジナルでやってみようかと。
アイマスもまだまだ描きたいネタはあるので
気が向いたら書くこともあるでしょう。

活動詳細はPixivまたはTwitterをご覧ください。
ご意見ご感想など頂けると、とても励みになります。

Pixiv : <http://pixiv.me/yanagie>
Twitter : <http://twitter.com/yanagie>
休止中webSiteURL : <http://yanagie.sakura.ne.jp/>

Don't Let Our Love Go Down

■発行日 初版 2016.08.14
第2版 2017.08.13
■発行 STUDIO FATALITY
■印刷 しまや出版
■連絡先 mail to : yanagie@din.or.jp